

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

都市計画部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	01 計画的な土地利用を進める		
施策の展開	1. 秩序ある市街化の促進 3. 地区計画等の推進		2. 都市機能の適切な誘導

基本方針	適切な都市機能の確保を図るため、地域特性に応じた適正で計画的な土地利用を進めます。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
秩序だった土地利用や建物の配置に関して満足している市民の割合	36.2% (H26年度)	41.8%					49.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
地区計画の策定地区数	単年度	13地区	13地区	14地区		都市計画課	
田園まちづくり制度による建築物立地(許可)件数	単年度	37件	56件	71件		都市計画課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

(計画調査に要する一般的経費、区域の変更・用途地域変更事業)

●骨格となる都市計画道路などが十分に整備されていない状況で、市街地が拡大した区域においては、スプロール化が進むとともに、公園などの公共的な都市空間の不足、建築物の用途や高さの混在など、秩序あるまちづくりを進める上で問題が生じています。本市では、用途地域の見直しや地区計画の活用などにより、建築物の用途や高さの混在を防ぎ、地域にふさわしいまちづくりを進めてきました。

平成28年度においては、今後の社会経済情勢の変化に対応する魅力ある居住環境を形成するため、都市計画マスタープランの改定を実施し土地利用や都市機能の適切な誘導を図るとともに、秩序ある市街化の促進や良好な市街地環境の形成を図るため、平成27年度改定の兵庫県都市計画区域マスタープラン等を踏まえ、用途地域の見直しを実施します。

(地区計画策定事業)

●平成11年に加古川市景観まちづくり条例を施行し、市民の主体的なまちづくり活動や地区計画などのルールづくりを支援しています。今後も地区計画などを活用し、建築物の用途や高さの混在を防ぐことにより、地域の課題を解決し、地域特性に応じた良好な街なみの形成が必要です。

平成28年度においては、都台地区における良好な居住環境の維持、水足地区の産業用地への転換等の地域特性を活かしたまちづくりの支援を行います。

(市街化調整区域のまちづくり支援事業)

●市街化調整区域においては、集落の衰退が進むなどの問題もある中で、田園環境・自然環境を保全するとともに、田園まちづくり制度を活用し、周辺環境や景観と調和した土地利用を誘導しています。

平成28年度においては、畑地区等において田園まちづくり制度による市街化調整区域におけるまちづくり協議会の地区まちづくり計画等の策定支援を進め、まちづくり計画の実現に向けた地元主体の持続可能なまちづくりへの取り組みを支援します。

(開発指導行政に要する一般的経費)

●市街化区域においては、民間事業者が行う開発行為に対し一定の基準を保たせています。しかし、道路・公園などの公共的な都市空間が不足している地域が多いため、開発許可制度が適切に運用され、良好な都市環境が誘導されることが求められています。また、市街化調整区域においては、既存コミュニティの維持や社会・経済情勢の変化に対応するため、開発(建築)許可制度を適切に運用することによって、周辺環境や地域特性に応じた土地利用を誘導する必要があります。

平成28年度においても、開発・建築申請に対する審査及び許可事務を適切に執行することを継続することにより、秩序ある市街化の促進、良好な都市環境を誘導します。また、事業者等への効果的な指導を可能とするため、規制の強化を行うなど制度の改善を検討します。

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

都市計画部

基本 目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	01 計画的な土地利用を進める		
施策の 展開	1. 秩序ある市街化の促進 3. 地区計画等の推進		2. 都市機能の適切な誘導

平成29年度施策評価【年度終了後】	
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価	
進捗状況 : 「A 期待どおり」	
(計画調査に要する一般的経費、区域の変更・用途地域変更事業) ●魅力あるまちづくりを進めるにあたり、効果的な土地利用や都市機能の適切な誘導を図るために、加古川市都市計画マスタープランの改定を行いました。 ●都市計画マスタープランの方針を踏まえた用途地域等の見直しに向けて、「用途地域等の見直しに関する基本的な考え方」を策定しました。 (地区計画策定事業) ●都台地区については、良好な居住環境を維持するための地区計画の策定が完了しました。また、水足地区については、設立されたまちづくり協議会に対して、地域特性に応じた住民主体のまちづくりへの支援を進めました。 (市街化調整区域のまちづくり支援事業) ●市北部地域におけるまちづくり支援については、畑地区における土地利用計画の策定及び特別指定地区の指定をはじめとして、市民と行政の協働により地域課題の解決に寄与することができました。 (開発指導行政に要する一般的経費) ●市街化区域において65件の開発許可及び完了検査を行い、良好な都市環境の整備が実現されました。市街化調整区域においては81件の建築許可を行い適正な立地の規制誘導が図られました。 ●開発許可等の事務において、審査期間短縮のため、関係課への協議書の迅速配布、回答書のとりまとめの簡素化、進捗状況管理表による進捗管理を実施しました。 また、社会経済状況の変化に対応すべく、パブリックコメントを行いゴミステーション、雨水貯留施設、道路予定地等の設置基準の改正を行いました。	

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

都市計画部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 秩序あるまちなみを形成する		
施策の展開	1. 面的整備事業等の推進		2. 景観まちづくりの推進

基本方針	多様な手法により住民主体のまちづくりを進め、地域特性を生かした秩序ある都市環境とまちなみの形成を目指します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
景観やまちなみの美しさに関して満足している市民の割合	41.4% (H26年度)	46.8%					51.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

(都市景観形成事業)
●平成11年4月に加古川市景観まちづくり条例を施行し、公共が先導的に実施する景観形成、大規模建築物等の景観形成や市民との協働による景観形成に取り組んできました。平成19年には鶴林寺周辺を景観形成地区に指定するなど、市民の主体的なまちづくり活動やルールづくりを促しています。今後も、引き続き、地域の快適な居住環境が形成されるよう、景観形成に向けた取り組みを促し、快適で秩序ある都市環境を確保するとともに、地域の魅力を高めていくことが課題です。
平成28年度においては、引き続き、加古川市景観まちづくり条例に基づき、公共施設の景観に係る協議及び大規模建築物等の行為に係る助言、指導を行うとともに、景観形成に向けた取り組みへの支援を行います。
(広告物に関する景観形成事業)
●屋外広告物等については、兵庫県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物許可事務を適正に実施し、良好な街なみ景観の形成を進めてきたところです。しかし、市内に屋外広告物条例に適合しない野立広告物が存在しているのが現状です。
平成28年度においては、引き続き、兵庫県屋外広告物条例に基づき、屋外広告物許可事務を適正に実施し、良好な街なみ景観の形成を進めます。また、違反広告物対策方針に基づき、野立広告物の更なる是正指導や未申告指導の徹底を行うとともに、市民ボランティアなどと官民協働による除去を進めます。
(都市景観推進事業)
●市内には道路幅員狭小、家屋密集、不整形な画地などの問題のある地域が多く存在していますが、それらの解消には、住民だけの努力だけでは解決できない課題が多く見受けられます。そのため、行政が住民と協働することにより、解決していく必要があります。
平成28年度においては、地域住民の意向を尊重しながら、専門知識も持ったアドバイザー等を地域の熟度に応じて派遣し、地域と行政が共に協力しながら、事業進捗を図っていきます。また、地域への愛着を育む魅力あるまちづくりを推進するため、市内主要地点にある花壇(6か所)の適正な維持管理を行うとともに、地域ボランティアによる緑化活動に対し助成を行います。
(土地区画整理事業に要する一般的経費)
●新野辺南土地区画整理事業において、換地処分は完了しましたが清算金の一部未納となっています。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

(都市景観形成事業)
●加古川市景観まちづくり条例に基づく大規模建築物等の届出及び公共事業の景観形成に関する協議の受理を行うなど、よりよい景観形成に向けた取り組みを進めました。
(広告物に関する景観形成事業)
●兵庫県屋外広告物条例に基づく屋外広告物の許可等事務・違反広告物のパトロール等を行い、良好な景観の形成を図りました。
(都市景観推進事業)
●市内主要交差点等6か所の花壇の維持管理を行ったほか、7か所の公共空地での市民ボランティアの緑化活動を支援し、協働による美しい街づくりを推進しました。
●都市景観推進事業については、篠原地区の住民への周知に時間を要しアドバイザーの派遣にまで至りませんでした。
(土地区画整理事業に要する一般的経費)
●新野辺南土地区画整理事業の清算金については、各権利者の調査を行い、債権管理課と協議しながら徴収事務を進め、未収金の解消に努めました。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

建設部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する		
施策の展開	1. 都心・副都心の機能充実 3. 駐輪対策の推進		2. 地域拠点の機能充実

基本方針	加古川駅周辺地区及び東加古川駅周辺地区、別府駅周辺地区については、本市の都心及び副都心にふさわしい地区として、商業、教育、文化、住居など多様な都市機能の誘導と集積を図ります。また、地域拠点については、各地域の特性を踏まえながら、ふさわしい機能の確保に向けた取組を進めます。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
加古川駅周辺の都心としての魅力に関して満足している市民の割合	38.1% (H26年度)	42.4%					54.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

- 加古川駅をはじめとする鉄道駅周辺の都市施設の維持管理により、良好な都市機能を確保します。
- 加古川駅東方面における過密する駐輪状態に対処するため、神戸線高架下に新たな無料駐輪場(仮称:溝之口東駐輪場)を整備し、現溝之口無料駐輪場の有料化を図ります。あわせて、放置自転車対策の作業量や保管手数料の見直しを行うなどの放置自転車対策を進め、公共の場の機能の確保と美しい街並み保全を図ります。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

- 進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
- 加古川駅をはじめとする鉄道駅周辺の都市機能を確保するために、駅周辺に放置自転車が発生しないよう市民への啓発を行うとともに、放置禁止区域の標示看板の設置及び路面標示を行いました。
 - 加古川駅東方面で過密となっている駐輪状況に対応するため、12月からJR神戸線高架下に無料の溝之口東駐輪場を供用開始しました。また、溝之口駐輪場を有料化するため、公益財団法人自転車駐輪場整備センターと協定を締結し、29年4月から供用開始しました。あわせて放置自転車対策の取組内容を見直し、公共の場の機能確保と美しい街並み保全を図りました。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

都市計画部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する		
施策の展開	1. 都心・副都心の機能充実 3. 駐輪対策の推進		2. 地域拠点の機能充実

基本方針	加古川駅周辺地区及び東加古川駅周辺地区、別府駅周辺地区については、本市の都心及び副都心にふさわしい地区として、商業、教育、文化、住居など多様な都市機能の誘導と集積を図ります。また、地域拠点については、各地域の特性を踏まえながら、ふさわしい機能の確保に向けた取組を進めます。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
加古川駅周辺の都心としての魅力に関して満足している市民の割合	38.1% (H26年度)	42.4%					54.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

(中心市街地整備事業)

●加古川駅周辺地区は、商工業の中心地として発展してきました。当地区は、市の中心市街地として商業施設を含んだ土地の高度的・合理的な利用が期待されているにもかかわらず、建物の老朽化と空き店舗等の増加により、都市基盤の脆弱化、空洞化が進んでいます。

また、地区内には狭隘な道路と低層の老朽化した木造家屋が密集し、火災時の延焼拡大、地震時の避難や救助に支障をきたすなど防災上の問題も抱えています。それらの解消には、一定のエリアを対象とした再開発の実施など、権利者と行政の協力が不可欠となります。

平成28年度においては、寺家町周辺地区防災街区整備事業区域内において、共同施設建築物の完工(平成28年7月末)、事業組合の解散認可などに関し、技術的・資金的な支援を行います。

(厄神駅周辺道路整備事業)

●JR加古川線神野駅及び厄神駅において、駅舎及びアクセス道路等の整備を実施し、利便性の向上を図っている所ですが、厄神駅へのアクセス道路整備について、用地取得等地域の協力を得る必要があります。

平成28年度においては、厄神駅へのアクセス道路である市道下村3号線等の道路用地の買収を進めます。

(宝殿駅附近都市整備事業)

●宝殿駅南地区においては、県道伊保宝殿停車場線をはじめとした都市基盤がぜい弱であることや、低層建築物が多く立地するなど駅前という立地を活かした土地利用が進んでいません。また、3市(姫路市・高砂市・加古川市)の共有地を有効に活用することも必要となっているため、整備方針を検討する必要があります。

平成28年度においては、国道2号線以北の宝殿駅南地区の整備について、都市計画道路宝殿荒井線東側の市有地(旧公会堂跡地)の有効利用を主に考え、西側エリアの建物を極力残すことによる工期の短縮と事業費の低下を図る案を作成、高砂市と協議し、整備計画の方向を定めます。

(加古川駅等周辺整備事業に要する一般的経費、加古川駅北土地区画整理事業)

●土地区画整理事業などにより、都市を面的に整備することは、秩序ある都市環境の形成を図る上で大変有効です。特に、加古川駅周辺地区は、公共交通の結節点であり、東播磨地域の玄関口となっており、都心機能の向上を図り効率的な都市利用がなされるよう、加古川駅前土地区画整理事業や加古川駅北土地区画整理事業などの基盤整備を進めてきました。

加古川駅前土地区画整理事業については、平成27年6月に換地処分 of 広告を行ない事業が完了しました。また、加古川駅北土地区画整理事業については、平成28年度完了を目途として整備中です。

平成28年度においては、加古川駅前土地区画整理事業については、平成32年度の清算事務の完了に向け、清算金の分割納付者に対して徴収事務を進めていきます。加古川駅北土地区画整理事業については、引き続き事業を推進し、区画道路の整備により地区内の狭あい道路の解消を図ります。

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

都市計画部

基本 目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する		
施策の 展開	1. 都心・副都心の機能充実 3. 駐輪対策の推進		2. 地域拠点の機能充実

平成29年度施策評価【年度終了後】	
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価	
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」	
(中心市街地整備事業) ●平成28年7月に防災建築物が完了、平成29年3月に事業組合が解散認可を受けるなど、当初計画通りに事業が進みました。 (厄神駅周辺道路整備事業) ●早期買収に向け交渉を続けた結果、買収予定29筆中18筆を買収することができました。残りは平成29年度に継続していきます。 (宝殿駅附近都市整備事業) ●兵庫県まちづくり技術センターの発掘支援事業を活用し、宝殿駅南地区の整備計画素案を作成し、高砂市と協議を進めましたが、整備計画の方向性は検討を継続することになりました。 (加古川駅等周辺整備事業に要する一般的経費、加古川駅北土地区画整理事業) ●加古川駅前土地区画整理事業については、清算金の分割納付者に対し、平成32年度の清算完了に向け適正な徴収を継続しました。 ●加古川駅北土地区画整理事業については、平成28年度中の完了が難しいことから、事業完了年度を平成33年度まで5年間延長しました。また、駅北第3、第4公園の整地工事や溝之口線歩道部に点字ブロックを設置しました。区画道路の整備については、建物移転の補償交渉が難航したことから、整備に至りませんでした。	

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

建設部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	04 幹線道路・港湾機能を充実する		
施策の展開	1. 幹線道路の整備 3. 港湾交流機能の充実		2. 幹線道路ネットワークの再編

基本方針	国、県など関係機関と連携しつつ、市域内から広域へつながる円滑な交通の実現を図るとともに、経済面での需要創出や生産力の増強など道路整備の波及効果が最大限発揮されるよう、効果的な幹線道路ネットワークの形成を目指します。また、東播磨港においては、海上物流機能を支える基盤の強化を促進します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
幹線道路の整備に関して満足している市民の割合	47.1% (H26年度)	48.1%					55.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
入港船舶の隻数	単年	9,622隻	9,857隻	-		治水対策課	
入港船舶の総トン数	単年	25,724千t	26,411千t	-		治水対策課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <p>●幹線道路の整備を推進し、南北方向・加古川渡河部の交通渋滞緩和や加古川バイパスや山陽自動車道等へのアクセス機能の充実を図り、広域的な幹線道路ネットワークの形成をめざします。また、誰もが安全で快適に通行できるよう、自転車歩行者道の整備などに取り組みます。</p> <p>●防潮堤の整備や防潮門扉の電動化等の防災対策について、東播磨振興協会を通じて県に要望していくと共に、「海の路ネットワーク」の一環として、クリーンキャンペーン「リフレッシュ瀬戸内」を実施し、海岸沿線が市民の貴重な財産であるというイメージづくりを展開していきます。</p>

平成29年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」</p> <p>●都市計画道路尾上小野線、加古川別府港線、中津水足線等の用地取得を進め都心部の渋滞緩和に寄与する幹線道路整備に向けた取り組みを着実に進めました。</p> <p>●東播磨港振興協会を通じて、県に対して防潮堤の整備や防潮門扉の電動化等の防災対策を要望し、防潮門扉の電動化が一部完了しました。約220名の市民が別府港及び尾上港のクリーンキャンペーン(リフレッシュ瀬戸内)に参加し、環境美化及び湾岸沿線のイメージアップを図ることができました。</p>

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

都市計画部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	05 公共交通機能を充実する		
施策の展開	1. 鉄道機能の充実 3. コミュニティ交通の充実	2. バス機能の充実	

基本方針	超高齢社会の到来や環境問題などの社会情勢の変化を踏まえながら、地域にふさわしい交通機能の充実を図り、持続可能な地域公共交通網の構築を目指します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
鉄道の便利さに関して満足している市民の割合	61.3% (H26年度)	63.1%					67.0%
バスの便利さに関して満足している市民の割合	33.7% (H26年度)	33.3%					41.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
コミュニティ交通の利用者数	単年度	635,743人	664,334人	707,807人	交通政策課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」 (公共交通補助事業、自家用有償旅客運送事業、地域公共交通プラン策定事業)</p> <p>●交通政策に関しては、平成22年度に「加古川市地域公共交通アクションプラン」を策定し、その方針を受けて、補助路線バスの評価・見直しに加え、「かこバス」のルート変更、「かこタクシー」の延伸など、公共交通不便地域の解消に取り組んでいます。また、平成25年3月から運行を開始している「上荘くるりん号」も、このアクションプランの方針を受け、住民主体による新たなコミュニティ交通として導入したものです。</p> <p>このような中、これまで通勤・通学の大量輸送を担ってきた路線バスは、社会情勢の変化により収支の悪化が進み、バス事業者は不採算路線からの撤退を示唆しています。一方、高齢化の進展により、日常生活に必要不可欠な病院や買い物への移動が困難になる方が増加しており、新たな公共交通、移動手段の導入を求められています。</p> <p>平成28年度においては、路線バスや上荘くるりん号の運行に対する補助、支援を行い、公共交通の維持確保を図るとともに、本市の公共交通を将来にわたって持続させるため、地域公共交通網全体を抜本的に見直し、日々の暮らしを支え、地域に根ざした公共交通を目指す「加古川市地域公共交通プラン」を策定します。</p>

平成29年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」</p> <p>(公共交通補助事業、自家用有償旅客運送事業、地域公共交通プラン策定事業)</p> <p>●市が運行補助を行っていた神姫バス志方東系統「広尾東～細工所北口」については、加古川市地域公共交通アクションプランの評価指標を満たしていない状況が続いたため、同区間の運行を廃止し、代替交通として地域特性に応じて日常の買い物や通院、既存交通との乗り継ぎにも配慮した新たな公共交通として平成28年11月から「かこバスミニしろやま号」の社会実験運行を開始しました。</p> <p>「かこバスミニしろやま号」の運行にあたり、ルートや停留所の位置などを地元町内会とともに検討し、市と住民とが協働して進めることができたことは、今後、他の地域で新たな公共交通手段を導入していくモデルケースになると思われます。</p> <p>●上荘くるりん号の運行については、利用者が徐々に増加しており、買い物施設への延伸により利便性が向上したためと推測される。今後もさらなる利用者増加のため、支援を行っていきます。</p> <p>●平成27年度から平成28年度にかけ協議会を計8回開催し、平成29年3月に「加古川市地域公共交通プラン」を策定した。本市の公共交通施策を推進していくうえで、市の課題を抽出し、交通事業者、利用者、行政等の関係者が相互に連携と協働を図りながら、将来的に持続可能な地域公共交通網を再構築するための指針をまとめることができました。</p> <p>今後は、プランに基づき地域主体の新たなコミュニティ交通の検討と補助路線の見直しを行っていきます。</p>

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

建設部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	01 防災・防犯のための基盤を整備する		
施策の展開	1. 防災基盤の充実 3. 防犯基盤の充実	2. 治水対策の推進 4. 交通安全施設等の整備	

基本方針	災害に強い都市基盤の整備や犯罪防止、交通安全に寄与する施設環境の整備を進め、安全・安心なまちづくりを推進します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
地域の防災体制に関して満足している市民の割合	41.7% (H26年度)	56.6%					53.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
民間住宅の耐震化率	単年度	80.4%	81.1%	81.9%	建築指導課		
防犯灯設置件数	S39年度からの累計値	18,099件	18,227件	18,312件	土木総務課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」
<ul style="list-style-type: none"> ●道路通行の安全を確保するため、防犯灯や交通安全施設(カーブミラー等)を適切に整備していきます。また、通学路については、路肩カラー化や交通安全施設の新規設置による交通安全対策を積極的に進め、児童・生徒の安全確保を目指します。 ●治水対策について、河川及び排水路の計画的な整備と効率的な維持管理に努めます。とりわけ水田川については、県事業と整合した準用河川水田川河川改修計画策定し、河川改修事業の早期化を図ります。また、局地的な集中豪雨に対応するため、各部局で実施する具体的な取組み「総合治水対策」の進行管理等により、市民の安全・安心を確保していきます。

平成29年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ●道路通行の危険箇所等に防犯灯及び交通安全施設を設置し、安全確保に努めました。また、通学路の安全確保のため、加古川市通学路交通安全プログラムに基づく合同点検を実施し、緊急に対処が必要な箇所については交通安全施設の新規設置を行いました。また、既存のガードレール、道路照明灯、電柱幕、路肩カラーを含めた路面標示等の修繕を行いました。 ●河川及び排水路の整備・維持管理については、計画どおりに適切に実施しました。また、総合治水対策についても、各部局が定めた目標を着実に実施しており、開発関連の基準の改定も完了しました。準用河川水田川河川改修計画策定については、平成29年9月に完了予定で進めており、関係機関との協議・調整を行い、早期の事業化を図る予定です。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

都市計画部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	01 防災・防犯のための基盤を整備する		
施策の展開	1. 防災基盤の充実 3. 防犯基盤の充実	2. 治水対策の推進 4. 交通安全施設等の整備	
基本方針	災害に強い都市基盤の整備や犯罪防止、交通安全に寄与する施設環境の整備を進め、安全・安心なまちづくりを推進します。		

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
地域の防災体制に関して満足している市民の割合	41.7% (H26年度)	56.6%					53.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
民間住宅の耐震化率	単年度	80.4%	81.1%	81.9%	建築指導課		
防犯灯設置件数	S39年度からの累計値	18,099件	18,227件	18,312件	土木総務課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <p>(簡易耐震診断推進事業、住宅耐震改修促進助成事業)</p> <p>●住宅の耐震化については、簡易耐震診断の無料化や改修工事費の上乗せ補助を実施し耐震化を進めてきましたが、目標の90%には届いていません。</p> <p>平成28年度においては、県の耐震改修促進計画の改定を受け、上期に耐震改修の指標となる加古川市耐震改修促進計画を改定するとともに、簡易耐震診断及び住宅耐震改修促進助成の目標数に近づくため、耐震化に関するリーフレット等を作成し啓発を図り、対象となる住宅の存する地域への個別訪問、地域への出前講座等を引き続き実施するなど、受診件数、改修実施件数の増加に繋がります。また、工事費の捻出が難しい場合、防災ベッド・シェルター設置に対する補助制度の周知を図るとともに、新たに屋根軽量化工事費補助等を拡充し、耐震化を進めるとともに人的被害を低減します。</p> <p>(大規模建築物耐震診断等助成事業)</p> <p>●耐震化義務付けの対象となる施設の耐震診断は完了し結果報告を受理しています。</p> <p>平成28年度は、診断結果に基づき、建築物の耐震化のための計画策定及び改修工事補助について協議を進めます。</p>

平成29年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」</p> <p>(簡易耐震診断推進事業、住宅耐震改修促進助成事業)</p> <p>●耐震改修促進計画について、計画年度を平成28年度から平成37年度とし、新たな目標設定を行い改定しました。</p> <p>●住宅耐震化に関するリーフレットを作成し、全戸回覧を行いました。また、比較的安価な改修方法である屋根軽量化工事、シェルター型工事及び防災ベッド等設置に関する補助などの各種補助制度の説明や耐震化の必要性を訴える出前講座を実施するなど意識啓発に努め、耐震化を推進しました。</p> <p>(大規模建築物耐震診断等助成事業)</p> <p>●対象施設の所有者に対して、補強設計を促すとともに、改修工事等について協議を進めましたが、事業の実施には至りませんでした。</p>

加古川市施策評価シート

(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評

教育総務部

備)

基本 目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
----------	-------------------	----	----------------------

施策	01 防災・防犯のための基盤を整備する
----	---------------------

施策の 展開	1. 防災基盤の充実	2. 治水対策の推進
	3. 防犯基盤の充実	4. 交通安全施設等の整備

基本 方針	災害に強い都市基盤の整備や犯罪防止、交通安全に寄与する施設環境の整備を進め、安全・安心なまちづくりを推進します。
----------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標

まちづくりの指標		総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
地域の防災体制に関して満足している市民の割合		41.7% (H26年度)	56.6%					53.0%
その他の関連指標		表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
民間住宅の耐震化率	単年度		80.4%	81.1%	81.9%	建築指導課		
防犯灯設置件数	S39年度からの累計値		18,099件	18,227件	18,312件	土木総務課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】

※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」

近年、これまでの想定を超える局地的な豪雨が多発する一方、都市化の進展に伴い雨水の浸透機能や保水機能は低下しており、雨水の流出量が短期間に増大し、浸水による被害が拡大する傾向にあります。平成28年度は総合治水対策に基づき、中学校1校(平岡中)に雨水貯留施設整備事業を実施します。具体的には、校庭周囲に高さ30センチ程度の壁(小堤)を設け、集中豪雨等の際の雨水の流出を一時的に抑制し、浸水被害を防止するための対策を講じます。雨水貯留施設整備事業は、今回が初めての施工となるため、実施後は、浸水被害の防止効果とともに、学校生活及び校庭への影響について検証する必要があります。

平成29年度施策評価【年度終了後】

※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価

進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」

水田川流域に位置する平岡中学校の雨水貯留施設の整備については、予定どおり完了しました。浸水被害の防止効果については、実施後に集中豪雨等が発生していないため検証できていませんが、日常の降雨による学校生活及び校庭への影響がない事は確認できています。今後も気象情報に留意し、引き続き、浸水被害の防止効果の検証を行います。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

建設部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	02 生活に身近な道路を整備する		
施策の展開	1. 道路の整備・改良		2. 道路の適正な維持管理

基本方針	地域内道路の計画的・効果的な新設や改良、適切な維持管理に努め、安全で快適な地域交通の確保を目指します。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
地域内の道路の安全性や便利さに関して満足している市民の割合	36.3% (H26年度)	35.5%					44.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
緊急対策が必要な踏切のうち歩道設置などの構造改良を実施した箇所数	H20年度からの累計値	7箇所	7箇所	7箇所	道路建設課		
橋梁長寿命化修繕計画による補修済橋梁数	H26年度からの累計値	2橋	9橋	15橋	道路保全課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」
<ul style="list-style-type: none"> ●幹線市道については、路面性状調査に基づく舗装補修計画により補修工事を実施し、橋梁については、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋長15m以上の7橋の補修工事を行うとともに、橋長15m未満の291橋の定期点検を実施し、計画的、効率的な維持管理に努めます。 ●幹線市道の西牧横大路線などの整備を進めるとともに、踏切改良や交差点改良を実施することにより、交通の円滑化と安全確保を図ります。 ●宝殿駅については、自由通路の耐震補強詳細設計を行い耐震化を進めることで、利用者の安全・安心を確保していきます。 ●道路上に不法放置された物件等に対しては、勧告、指導、撤去を行い交通の円滑化と安全確保を図ります。同時に、市道の認定・廃止手続きを行い、市道域・里道等を適正に管理すると共に、道路上等の事故に対応するため、道路管理賠償保険に加入します。

平成29年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ●道路については路面性状調査の結果に基づく舗装補修計画に基づき、損傷が激しい箇所を優先的に舗装補修工事を実施しました。また、橋梁については長寿命化修繕計画に基づき、橋長15m以上の6橋の補修工事を着手するとともに、緊急に措置を講ずる必要がある橋梁を把握するため、新たに314橋の定期点検を実施しました。今後も道路の損傷路線の増加および橋梁の老朽化が進むことは確実であるため、計画的な予防修繕を継続する必要があると考えています。 ●宝殿駅については、自由通路の耐震補強詳細設計を行い、耐震化を進めていきます。 ●市内幹線道路の整備と連携し、地域内道路の新設や拡幅整備、道路改良、踏切拡幅などを計画的・効果的に実施することにより、危険個所の改善が図られました。また、地元町内会からの拡幅要望は多数あり、さらなる安全性の向上が必要と考えています。 ●道路上に不法に放置された物件等について、撤去等の処理を行い、交通の安全確保・円滑化に努めるとともに市道認定・廃止手続きを通じて管理道路を適正に管理しています。また、道路管理賠償責任保険に加入し、道路上等の事故に対応しました。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

建設部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	03 良質な住宅供給を促進する		
施策の展開	1. 良質な民間住宅の供給 3. 空き家等の管理・活用		2. 市営住宅の計画的な整備・管理

基本方針	安全・安心な居住環境の形成と住宅セーフティネットの構築を進めるため、既存の住宅ストックの活用を図るとともに、多様なニーズに対応した良質な住宅の供給などを促進します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
住宅供給に関して満足している市民の割合	—	56.3%					向上
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
長期優良住宅認定件数	H21年度からの累計値	2,745件	3,235件	3,721件		建築指導課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」
●平成28年度は、加古川市公営住宅等長寿命化計画に基づき、東神吉住宅中層1棟(24戸)の耐震補強工事及び、同住宅低層6棟(30戸)の外壁改修・屋上防水工事を行い、住民の安全確保並びに生活環境改善を図ります。

平成29年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「A 期待どおり」
●市営住宅について、加古川市公営住宅等長寿命化計画に基づき、計画的な維持補修を行い、平成28年度の目標を達成しました。東神吉住宅低層6棟(30戸)の外壁改修・屋上防水工事及び中層1棟(24戸)の耐震補強工事を完了し、住民の安全確保と生活環境を改善しました。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

都市計画部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	03 良質な住宅供給を促進する		
施策の展開	1. 良質な民間住宅の供給 3. 空き家等の管理・活用	2. 市営住宅の計画的な整備・管理	

基本方針	安全・安心な居住環境の形成と住宅セーフティネットの構築を進めるため、既存の住宅ストックの活用を図るとともに、多様なニーズに対応した良質な住宅の供給などを促進します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
住宅供給に関して満足している市民の割合	—	56.3%					向上
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
長期優良住宅認定件数	H21年度からの累計値	2,745件	3,235件	3,721件		建築指導課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
<p>※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <p>(空き家等対策事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成26年2月に策定した「加古川市空き家・空き地問題に関わる土地利用の活性化に関する方針」に基づき、相談窓口等を設置し対応を進めています。 ●平成28年度においては新たな取り組みとして、司法書士等外部専門家に所有者の調査等の一部を委託し調査の効率化を進めます。また、老朽空家の所有者に対し、モデル事業として、除却後の土地の公共利用等を条件に、除却工事費に対する補助を行い、事業効果の検証を行います。自治体における応急措置等を可能とする条例について、H28年度制定に向け検討を進めます。

平成29年度施策評価【年度終了後】
<p>※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価</p> <p>進捗状況 : 「A 期待どおり」</p> <p>(空き家等対策事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成26年度から設置している総合相談窓口においては、他部署と連携を取りながら、空き家空き地に関する総合相談を受け付け、対応を進めました。 ●司法書士と委託契約を締結し、空き家に係る相続人等の特定が困難な事案などについて助言を受けながら、効率的に事務を進めました。 ●老朽危険空き家の撤去を促進するため、「加古川市老朽危険空き家除却等支援事業補助金交付要綱」を制定し、モデル事業として、危険性の高い1軒の老朽危険空き家について、除却補助事業を実施しました。そして、その結果の検証を行い、平成29年度の補助要綱に反映させました。 ●空き家等の適正管理を推進するため、市における応急措置(軽微な措置・安全措置)を可能とする条例「加古川市空家等の適正管理に関する条例」を制定しました。(平成29年4月1日一部施行。平成29年7月1日完全施行) ●以前より老朽化が進み懸案となっていた5件の危険度が高い空き家につき、継続的な文書の送付及び指導等の結果、所有者自ら解体除却し、是正されました。

加古川市施策評価シート
(平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

市民部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する		
施策の展開	1. 公園・緑地の整備・管理 3. 親水空間の整備・活用	2. 緑化の推進 4. 公園墓地等の整備・運営	

基本方針	良好な水辺空間の創出と質の高い公園・緑地などの整備、また緑の保全・創出・育成に向けた施策を着実に推進することにより、水と緑の空間の形成を目指します。また、将来の需要や市民ニーズに対応した公園墓地などの整備・運営に努めます。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標								
まちづくりの指標		総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
公園・緑地や水辺の整備に関して満足している市民の割合		46.6% (H26年度)	52.9%					55.0%
その他の関連指標		表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
花とみどりのまちづくりリーダー養成講座卒業業者数	H14年度からの累計値		388人	461人	481人	公園緑地課		
加古川市全体の印象としてみどりが多いと思う人の割合	単年度		20.1%	—	—	都市計画課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」
<p>「現状と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●斎場については、指定管理者制度を活用し、民間事業者による遺族の心情に配慮したきめ細かいサービスを実施しており、効率的、効果的な管理運営を行います。 ●今後高齢者の増加に伴う火葬件数の増加に対応できるよう、火葬炉や待合室等の改修が必要になると考えます。 <p>「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●斎場の火葬炉前の自動ドアの修繕を実施します。 ●霊柩車運行業務助成事業については、平成28年6月30日をもって廃止します。

平成29年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「A 期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ●斎場管理運営事業では、平成25年度で1回目の指定管理期間が終了し、平成26年度から平成30年度までの指定管理期間を引き続き同じ業者で開始しています。適切な管理運営が実施されています。 ●斎場維持補修事業では、火葬炉の全面積替え等の大規模修繕は、平成22年度から25年度で行いました。平成28年度は火葬炉前扉空気式開閉装置の修繕を行いました。 ●霊柩車運行業務助成事業は、受益者負担の観点から平成28年6月末で廃止しました。7月から、霊柩車の利用料は利用者負担となりました。

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

建設部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する		
施策の展開	1. 公園・緑地の整備・管理 3. 親水空間の整備・活用	2. 緑化の推進 4. 公園墓地等の整備・運営	

基本方針	良好な水辺空間の創出と質の高い公園・緑地などの整備、また緑の保全・創出・育成に向けた施策を着実に推進することにより、水と緑の空間の形成を目指します。また、将来の需要や市民ニーズに対応した公園墓地などの整備・運営に努めます。
------	---

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
公園・緑地や水辺の整備に関して満足している市民の割合	46.6% (H26年度)	52.9%					55.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
花とみどりのまちづくりリーダー養成講座卒業業者数	H14年度からの累計値	388人	461人	513人	公園緑地課		
加古川市全体の印象としてみどりが多いと思う人の割合	単年度	20.1%	—	—	都市計画課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」
<p>●「加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のリーディングプロジェクトとして位置付けられた、「日岡山公園再整備事業」、「河川敷緑地バーベキューサイト整備事業」、「権現総合公園整備事業」を地方創生に寄与するよう進めていきます。また、市内約350箇所の都市公園について、定期的な施設点検による不良箇所等の早期発見と修繕を継続して実施します。とりわけ開設から30年以上経過し施設の老朽化が進んでいる公園については、重点的に点検を実施し事故防止に努めます。さらに、樹木の剪定、草刈等適正な維持管理を行い、公園としての機能や美観の保持に努めます。</p> <p>●平成28年秋の合葬式墓地の運用に向けて、適切なスケジュール管理のもと使用者の募集などを進め、多様化するニーズに対応した墓地の提供に努めます。</p>

平成29年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>●「加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」のリーディングプロジェクトとして位置付けられた、「日岡山公園再整備事業」、「河川敷緑地バーベキューサイト整備事業」、「権現総合公園整備事業」について、「日岡山公園再整備事業」は、「日岡山公園周辺地区まちづくり構想(政策企画課)」の策定と並行しながら基本計画の骨組み・根拠資料を作成し、構想に基づいた基本計画の策定に向けた取り組みを進めました。</p> <p>●「権現総合公園整備事業」については、民間活力導入可能性検討調査を実施し、権現湖パーキングエリアを核としたハイウェイオアシスとしてのポテンシャルの確認及びPPP事業の可能性を民間事業者へマーケットサウンディングを実施しました。事業のモデルプラン、概算事業費の算出についても、引続き29年5月完了を目標に進めています。</p> <p>●「河川敷緑地バーベキューサイト整備事業」については、プロポーザル方式によるサイトの運営事業者の公募には参加事業者がなかったものの、11月に開催した「加古川河川敷バーベキューフェスティバル」には市内外から多数の参加者があり、交流人口の増加、市のPR、賑わいの創出に一定の効果がありました。</p> <p>●日光山墓園においては合葬式墓地が8月末に完成、10月から募集を開始し、多様化するニーズに対応した墓地の提供を行っています。</p>

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

都市計画部

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	06 雨水・汚水を適切に処理する		
施策の展開	1. 下水道整備の推進 3. 下水道事業の経営基盤の強化		2. 施設の適正で効率的な維持管理

基本方針	下水道の計画的な整備や維持管理を進めることにより、快適で衛生的な生活環境を確保するとともに、川や海などの公共用水域の水質保全や降雨による浸水防止等を図ることで安全・安心な暮らしの実現を目指します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
下水道の整備に関して満足している市民の割合	61.4% (H26年度)	70.7%					67.0%
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28	データ所管課等		
下水道処理人口普及率	単年度	89.8%	90.5%	90.9%	経営管理課		
都市浸水対策達成率	単年度	43.9%	43.9%	43.9%	下水道課		

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】	
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」	
(下水道事業会計支出事業)	
<p>●下水道事業のうち、公共的、政策的にその経費を一般会計が負担すべきものについて、下水道会計へ負担金及び補助金を支出し、地方公営企業の経営の健全化及び経営基盤の強化を図る必要があります。</p> <p>平成28年度においては、引き続き、雨水処理費や公費で負担すべき汚水処理費などを公営企業への繰出基準に基づき支出するとともに、政策的に一般会計が負担すべきものについては補助金を交付し、一般会計からの適正な公費負担により、下水道事業の安定的な経営を図ります。</p>	

平成29年度施策評価【年度終了後】	
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価	
進捗状況 : 「A 期待どおり」	
(下水道事業会計支出事業)	
<p>●公費で負担すべき雨水処理及び汚水処理費について、公営企業への繰出し基準に基づき支出を行うと共に、政策的に一般会計が負担すべき経費については補助金を交付することにより、一般会計からの適正な支出のもと、下水道事業会計の安定的な経営に寄与しました。</p>	

加古川市施策評価シート
 (平成28年度施策実行プラン及び平成29年度施策評価)

秘書室

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	07 地域の情報化を推進する		
施策の展開	1. ICT環境整備と活用の促進		2. 地域メディアの活用

基本方針	めざましく進化・革新を続けるICT(情報通信技術)を取り巻く環境の変化に的確に対応し、積極的に利活用するため、情報通信基盤の整備や有効活用を促進し、ICTを活用した利便性の高いまちづくりを目指します。
------	--

まちづくりの指標(市民意識調査結果)とその他の関連指標							
まちづくりの指標	総合計画策定時	H28	H29	H30	H31	H32	目標値(H32)
ICTを活用した地域の情報化に関して満足している市民の割合	—	53.6%					向上
その他の関連指標	表記	H26	H27	H28		データ所管課等	
防災・生活情報ネットワーク登録件数	単年度	19,451件	20,610件	21,517件		秘書広報課	

平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)【年度当初】
※各部局における「現状と課題」とその解決に向けた「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」
<ul style="list-style-type: none"> ●「防災ネットかこがわ」では、緊急時の防災情報だけでなく、防犯や光化学スモッグに関する情報の提供も行っており、日常の行政の情報伝達手段として活用しています。 ●「防災ネットかこがわ」の登録者を増加させるために、防災関係の出前講座などに限らず、その他のイベントや会議などで周知・啓発を行っていきます。さらに防災ネットのみならず、子ども安全ネット、消防情報ネットを含め、より効果的な周知方法を検討するとともに、それぞれで登録する手法の簡素化についても他市の事例などで調査・研究していきます。

平成29年度施策評価【年度終了後】
※各部局における「平成28年度施策実行プラン(施策実施計画)」の進捗状況と評価
進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<ul style="list-style-type: none"> ●一斉同報手段の一つである防災ネットの登録者を増加させるために、防災ネットだけでなく、子ども安全ネット・消防情報ネットも集約したチラシを新たに作成し、携帯ショップの協力により店頭でチラシを設置することにより登録促進や周知を行いました。登録者は年々増加していますが、増加率も鈍くなってきていることから、さらに利用を促進するための周知や啓発に努めます。